

平成 23 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

教育委員会

目 次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| I | 平成23年度教育委員会主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 5 |
| III | 歳入歳出決算額 | 15 |
| 1 | 一般会計決算額 | 15 |
| (1) | 歳入決算額 | 15 |
| (2) | 歳出決算額 | 16 |
| 2 | 特別会計決算額 | 17 |
| (1) | 歳入決算額 | 17 |
| (2) | 歳出決算額 | 17 |

I 平成23年度教育委員会主要施策の成果の概要

1 社会全体で取り組む教育の実現（教育戦略課，学校政策課，生涯学習政策課）

(1) 学校・家庭・地域の連携の推進

県民の教育に対する理解を深め，学校・家庭・地域が連携して学校教育及び社会教育の活性化を図るとともに，家庭や地域がそれぞれに求められる役割を十分に果たせるよう，地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「地域ぐるみの学校支援事業」や，家庭教育支援者の養成等を目的とした「ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業」を実施するなど，家庭・地域の教育力向上をめざした取組を推進した。

(2) 地域の教育力の活用

地域の人材や教育力を活用して，地域で子どもをはぐくむ活動を推進するとともに，学校評価システムの充実・改善やコミュニティ・スクールの普及を図り，地域に開かれ信頼される学校づくりを進めた。

(3) 幼児期における教育の充実

発達や学びの連続性を確保するために，幼稚園と保育所・認定こども園・小学校との連携を推進するとともに，生活の連続性を確保するために，家庭・地域との連携を推進するなど，「徳島県幼児教育振興アクションプラン」を積極的に推進し，幼児教育の充実に図った。

(4) 産業界や大学等との連携の推進

地域の事業所や企業など産業界と連携して，子どもたちの勤労観や社会性を養った。

また，大学等との連携により教職員の資質向上のための研修やICTを活用した遠隔指導などの取組の充実に図った。

2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現（施設整備課，教職員課，学校政策課，特別支援教育課，体育学校安全課）

(1) 「確かな学力」の育成

基礎・基本の確実な定着はもとより，思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに，少人数学級や少人数グループ指導，チームティーチングなどによるきめ細かな指導を進めるなど，「確かな学力」を育成した。

また，小学校外国語活動の円滑導入に向けた取組や，高等学校における教育活動のレベルアップを図るための取組を推進するとともに，県内すべての公立小中学校において「阿波っ子すだち（巣立ち）宣言」プロジェクトを実施し，児童生徒の自主性・自立性を育成した。

(2) 「豊かな心」の育成

スクールカウンセラーの公立小中学校への全校配置や、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、いじめ・不登校など、児童生徒の多様な悩みに対応する相談体制の充実を図った。

また、道德教育の充実を図るとともに、自然体験や社会奉仕活動など様々な体験活動や郷土を学ぶ機会を通じて、命を大切にする心や他人を思いやる心、郷土の伝統や文化を大切にする心などの「豊かな心」を育成した。

(3) 「健やかな体」の育成

子どもが生き生きとした生活を送り、心身共に健やかに成長していくため、学校体育、保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した食育の取組を進めるなど、学校における食育を推進し、子どもたちの「健やかな体」を育成した。

(4) 特別支援教育の充実

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズを把握して適切な指導及び必要な支援を行う、特別支援教育の充実に向けた取組を推進した。

また、発達障害者の自立と社会参加を目的とした「ハナミズキ・プロジェクト」の一環として、高等学校段階の病弱または知的障害を伴う発達障害の生徒を受け入れる「みなと高等学園」の平成24年4月開校に向けた整備を進めた。

(5) 社会の変化に対応する教育の推進

急速な社会の変化に、子どもたち一人一人が主体的に対応できる能力・態度を育成するため、小・中・高等学校における系統的なキャリア教育、環境教育、国際理解教育、情報教育を推進した。

3 信頼される教育環境の実現（教育総務課、施設整備課、教育戦略課、教職員課、学校政策課、体育学校安全課）

(1) 活力と魅力ある学校づくり

各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、全県的な高校再編を進めるとともに、平成24年4月に開校した鳴門渦潮高校、吉野川高校の施設・設備の整備を進めた。

また、「地域の教育・文化の拠点」として、時代の進展や生徒の興味・関心に応じた学科の配置など、活力と魅力ある学校づくりを進めた。

(2) 教職員の資質の向上

強い使命感と高い倫理性の保持を念頭に、優秀な人材を確保するとともに、様々な研修の充実・支援に努めた。

また、教員評価のあり方について調査研究を進めるほか、メンタルヘルス対策や健康管理対策等を行い、教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を存分に発揮できるよう支援した。

(3) 安全・安心な学校づくり

県立学校施設の耐震化を推進するなど、施設・設備の整備を図るとともに、幼稚園や小・中学校の耐震化を促進するため、市町村に対して適切な助言や技術的支援等を行った。

幼児・児童生徒の安全を確保するため、地域住民の参加による学校安全ボランティア活動等の取組を推進するとともに、子どもの防災対応能力の向上を図った。

(4) 教育の組織運営体制等の充実

信頼される教育を実現するために、教育委員会の活動状況を点検・評価し、その結果を公表するなど、学校の組織運営体制の充実を図った。

4 人権尊重社会をめざす教育の実現（人権教育課）

(1) 学校教育における人権教育の充実

発達段階に応じた人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進めるとともに、幼児・児童生徒が自主的に活動できる機会を設けることにより人権問題の解決に向けた実践力を養い、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進した。

(2) 社会教育における人権教育の充実

「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」事業を実施するなど、生涯学習の視点に立ち、交流会、研究会などの多様な学習機会を展開していくことを通じて人権尊重の意識を高め、学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進した。

(3) 教員の指導力の向上

各種の研修機会を通じ、人権教育の推進者である教員自身の人権意識を高め、資質の向上を図るとともに、指導力の向上を図った。

(4) 社会教育における人権教育推進者の資質の向上

地域社会における人権教育を推進するため、県内全域にわたる人権教育推進者の養成と資質の向上を図った。

5 みんなが学べる生涯学習社会の実現（生涯学習政策課、文化の森統括本部）

(1) 多様な学習機会の提供

「徳島県立総合大学校」や関係機関・団体等との連携により多様化・専門化している県民の学習ニーズや社会的要請に的確に応え、だれもが利用しやすい学習情報提供体制を構築するとともに、適切な助言や資料提供などの学習支援を行う相談支援体制の充実を図るなど、生きがいと社会参加につながる総合的な学習支援体制づくりに努めた。

(2) 学びの環境の充実

県民の学習意欲を高め、時代のニーズに対応した効果的・効率的な学びを実現できるよう、生涯学習関連施設の機能の充実を図った。

また、本県文化を先導する拠点としての役割を果たすため、文化の森各館において企画展等を開催し、文化活動の活性化を図った。

(3) 郷土に根ざした学びの推進

本県の自然、歴史、文化、人物など、郷土や地域の特性に根ざした学びの場を創出し、郷土への親しみや関心を深めるとともに、学習成果を本県教育の振興と特色ある地域づくりにつなげることのできる生涯学習を推進した。

(4) 生涯学習推進体制の充実

県、市町村における生涯学習推進体制の充実を図るとともに、社会教育関係団体やボランティア等との連携や生涯学習関連事業の企画、実施にかかわる人材の育成に努め、県全体における生涯学習活動の積極的な展開を図った。

6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現（体育学校安全課、教育文化政策課、文化の森統括本部）

(1) 競技スポーツの振興

高等学校運動部の強化を図るため、競技力向上スポーツ指定校ステップアップ事業を実施し、優秀選手の集中を進め、指導者の適正配置を行うとともに、遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより、インターハイや国体等の全国大会で活躍できる運動部を育てた。

(2) 文化遺産の発掘と継承

県内所在の文化財についての基礎調査や埋蔵文化財調査を行い、その保護に努めるとともに、文化財を活かした地域づくり・人づくりを推進した。

また、中国・四国ブロックの各地域の貴重な民俗芸能の価値を広く一般に周知し、その保存・振興を図るため、民俗芸能大会を開催した。

(3) 学校における芸術文化活動の推進

学校においては、芸術文化活動を通して、生活に潤いとゆとりをもたらす芸術文化に親しむ態度を養い、豊かな心をはぐくむことが求められている。

そのため、美術や音楽など優れた芸術作品にふれる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組むことのできる環境を整え、学校における芸術文化活動を推進した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 社会全体で取り組む教育の実現 | 産学官連携による産業教育推進事業 | <p>専門高校における教育内容の充実を図り、次代を担う産業人材を育成するため、産学官との実践的な連携事業を実施するとともに、異なる学科（農・商・工）間が共同で取り組む事業を実施した。</p> <p>(1, 488)</p> |
| | 放課後子ども教室推進事業 | <p>子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりを推進するため、地域住民の参画を得た勉強やスポーツ、文化活動等の場の提供への取り組みを支援した。</p> <p>(27, 444)</p> |
| | 地域ぐるみの学校支援事業 | <p>地域全体で学校教育を支援する体制の構築を図るため、学校支援ボランティアや地域コーディネーター等による学校支援地域本部の活動を支援した。</p> <p>(2, 272)</p> |
| | ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業 | <p>地域ぐるみで取り組む家庭教育支援を実現するため、家庭教育支援者の養成をはじめ、父親や次世代に親となる高校生を対象にした講座等を実施した。</p> <p>(561)</p> |
| | 学校サポーターズクラブ制度創設事業 | <p>地域による学校支援をさらに促進するため、本県独自の取組みとして「学校サポーターズクラブ」認証制度を創設し、活動主体となる各種住民団体の連合体への組織化を図った。</p> <p>(852)</p> |
| 2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現 | みなと高等学園整備事業 | <p>発達障害者の自立と社会参加を目的とした「ハナミズキ・プロジェクト」の一環として、高等学校段階の病弱または知的障害を伴う発達障害の生徒を受け入れる新たな特別支援学校「みなと高等学園」の校舎等新築工事及び既存施設の改修工事を実施した。</p> <p>(853, 703)</p> |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現 | 盲学校・聾学校整備事業 | 現盲学校敷地に、盲学校・聾学校を併置したかたちで改築し、特別支援教育の充実に向けた学校づくりを進めた。 (291, 596) |
| | いじめ・不登校等対策支援事業 | いじめ、不登校、暴力行為等生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見、早期解消を図るため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校に配置するなど、学校や家庭・地域において、児童生徒や保護者等に対する臨床心理士等による相談支援体制を整備した。 (1) スクールカウンセラー活用事業 (62, 597) (2) 児童生徒の心のサポート体制づくり推進事業 (1, 316) 計 (63, 913) |
| | 「徳島県学校改善支援プラン」推進事業 | 学習意欲を喚起し、進路実現につなげるなど、学力向上に係る教育活動のレベルアップを図るため、各高等学校において設定した課題について、指導方法、教材の工夫などの実践研究を行った。 (1, 281) |
| | 外国人英語指導助手配置事業 | 本県における英語教育の改善と充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を通じて外国人との相互理解を深め、本県の国際化の促進に資するため、高等学校等に外国人英語指導助手を配置した。 (104, 484) |
| | 学校問題解決支援チーム派遣事業 | より高度で専門的な知識を有する医師、大学教授等による支援チームを設置し、学校だけでは解決が困難な生徒指導事案に対応するため、個々の事案に応じた支援チームが児童生徒の実態把握や適切な指導方法及び対処方法について指導助言を行った。 (798) |
| | 教育相談支援事業 | 定時制高校等に通う生徒の悩みや不安を受け止めるとともに、その解消に努めるため、教育相談支援員を主に定時制高校に配置し、教育相談の充実を図った。 (7, 083) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現 | 命の大切さをはぐくむ推進事業～子どもと動物とのよりよい関係づくり | 生命を尊び自他を大切にすることを育成するため、動物との適正なかかわりを学ばせ、体験的なふれあい活動の充実を図ることで、より一層、生命あるものを大切にし、思いやりの心をはぐくみ、自他の生命を尊重する心の育成を図った。 (651) |
| | 学校を拠点とした地域国際理解教育推進モデル事業 | ICTを活用した交流や国際教育旅行の受入を円滑に実施する体制を整備し、国際交流を活発に行なうことにより、児童生徒の国際感覚の醸成や語学力向上を図った。 (1,414) |
| | 特別支援教育推進事業 | 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、きめ細やかな特別支援教育を推進するため、特別支援教育コーディネーター等に対する研修を実施するとともに、専門家・巡回相談員等による相談支援体制の充実等を図った。 (1,486) |
| | 「ともにまなぶ」高校生活応援事業 | 発達障害により特別な支援を必要とする生徒の学校生活の充実、学校不適合状態の予防改善及び校内支援体制の充実を図るため、支援対象生徒の在籍する県立高等学校に特別支援教育支援員(学習支援員)を配置した。 (677) |
| | 特別支援教育トータルサポート事業 | 特別支援学校の幼児児童生徒の障害の重度・重複化や小中学校に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への多様な教育的ニーズへの対応、また、高等学校における社会的・職業的自立に向けたきめ細かな指導を充実させるため、教員の専門性を高めるとともに、各支援学校と小中高等学校の連携による相談支援体制を構築した。 (4,115) |
| | 中学校武道・ダンス必修化に向けた地域連携指導実践事業 | 新学習指導要領による平成24年度からの中学校1,2年生での武道・ダンス必修化に向けて、各中学校で学習指導が円滑に導入できるよう、関係団体と協力しながら講習会や研究指定校における実践研究を行った。 (9,436) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現 | 子どもから発信！とくしまの食育推進事業 | 子どもの望ましい食習慣の確立に向けて、子どもを中核にした学校・家庭・地域の連携，学校給食における地産地消の推進に向けた取組みを中心に「徳島ならではの」の食育を推進した。 (1, 161) |
| | 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業 | 子どもの現代的な健康課題をテーマに各診療科の専門医等を学校等へ派遣し，教職員への指導助言，講話や講演などを行い，学校における子どもの現代的な健康課題に対応するための体制づくりを推進した。 (505) |
| | 子どもの体力・運動能力向上対策事業 | 子どもの体力・運動能力向上対策委員会で体力向上及び生活習慣の改善について検討するとともに，「体力アップ100日作戦！」の普及や「体力づくり運動プログラム」を実践的に活用し，児童生徒の体力向上，生活習慣改善を推進した。 (1, 329) |
| | あわっ子体力向上スマイル事業 | 全国調査で低位な状況であることが明らかとなった本県児童生徒の「体力・運動能力」の向上のため，「学校体育の充実」，「運動習慣の確立」，「望ましい生活習慣の形成」を柱とした総合的な体力向上施策を実施した。 (6, 304) |
| 3 信頼される教育環境の実現 | 鳴門渦潮高校体育科施設・設備整備事業 | 鳴門第一高校と鳴門工業高校を再編統合し，平成24年4月に本県初となるスポーツ科学科を設置して開校した鳴門渦潮高校に，県内高校のスポーツ拠点校として必要な体育施設・設備として，サッカー場の人工芝化を行った。 (59, 702) |
| | 高校施設耐震診断・改修事業 | 生徒の安全・安心を確保するため，耐震改修工事を計画的に実施し，高校施設の耐震化率向上を着実に推進した (1, 058, 639) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 信頼される教育環境の実現 | 県立学校避難所施設強化・充実事業 | 東日本大震災の教訓により、中核的な避難所においては、生活水や非常用電源などのライフラインの確保が重要であると考えられることから、ろ過装置付き雨水タンクや自家発電設備等を南部の県立学校でモデル的に整備した。 (12, 713) |
| | 吉野川高校施設・設備整備事業 | 鳴島商業高校と阿波農業高校を再編統合し、平成24年4月に開校した吉野川高校において、「農・商連携」による教育を展開するため、必要な施設・設備の整備を行った。 (183, 284) |
| | 新しい学校づくり推進事業 | 高校再編による新しい学校づくりや活性化を推進するため、円滑な統合に向けた学校間連携事業などの取組みを行った。 (1, 986) |
| | 教職員研修費 | 教員に必要な資質能力を育成するため、基本研修となる初任者研修、教職3年経験者を対象とした授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、各学校の中核となる教員を養成するリーダーシップ養成研修等を実施した。 (25, 463) |
| | 徳島県奨学金貸付事業 | 教育の機会均等を図るため、勉学に意欲を持ちながら、経済的理由により修学が困難な高等学校等の在学者に奨学金を貸与した。 (311, 611) |
| | 地域防災スクール推進事業 | 防災対応能力の向上と地域防災の即戦力かつ将来的な担い手の育成を図るため、高校生のボランティア活動を推進するなど、学校と地域が連携した防災活動を実施した。 (4, 267) |
| | 道徳教育総合支援事業 | 道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、新学習指導要領に基づく道徳教育用教材を作成・活用した調査・研究を行うとともに、外部講師を活用すること等により、指導の充実を図った。 (14, 045) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 信頼される教育環境の実現 | オンリーワンハイスクール「元氣とくしまプロジェクト」 | 学校の特色を生かした地域貢献，地域への発信強化を基本理念とし，学校が地域の教育・文化の拠点として地域の活性化に寄与することを目指した，オンリーワンハイスクールの育成を目指した。 (7, 918) |
| 4 人権尊重社会をめざす教育の実現 | 「心にひびくとおきのエピソード」事業 | 県民の人権意識の高揚を図るため，人権尊重の思いがあふれるエピソードを募集・表彰するとともに，優秀作品を人権教育・啓発の具体資料として活用した。 (850) |
| | 中・高生による人権交流事業 | 人権問題を解決する実践力を身につけた生徒を育てるため，県内の中学校・高等学校等の生徒の人権交流を実施した。 (2, 000) |
| | 人権教育指導員委嘱事業 | 児童・生徒の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決を図るため，人権教育指導員を選任し，県内すべての学校を対象に人権教育の指導を行った。 (2, 700) |
| | 「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」事業 | 学校等における人権教育の推進を図るため，人権の視点に立った活動を行う大学サークル等に交流研修を行った上で要請のあった学校等に派遣した。 (360) |
| | 「“あわ” じんけん講座」事業 | 各学校における人権教育を充実・推進するため，教職員の人権意識の高揚を図り，人権及び人権問題に関する理解・認識を深め，指導力を高める講座を実施した。 (1, 000) |
| | 人権教育研究推進事業 | 人権教育の一層の推進を図るため，学校，家庭，地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や，学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施した。 (3, 310) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 人権尊重社会 をめざす教育の 実現 | 人権教育指導者研修事業 | 地域社会における人権教育を推進するため、指導者の養成と資質の向上を図る人権教育指導者研修会を実施した。 (175) |
| 5 みんなが学べる生涯学習社会 の実現 | 文化の森各館企画展等開催費 | 本県文化を先導する拠点としての役割を果たすため、文化の森各館において企画展等を開催し、文化活動の活性化を図った。 (1) 博物館 (8,282) (2) 近代美術館 (17,087) (3) 21世紀館 (6,109) 計 (31,478) |
| | アトムデビュー60周年企画 「手塚治虫展」事業 | 日本アニメーションの礎となった手塚治虫作品を紹介するアトムデビュー60周年企画「手塚治虫展」を開催し、県民に鑑賞の場を提供するとともに、県外からの観覧者の集客に努め、徳島県の交流人口の増加と観光・文化の振興を推進した。 (2,000) |
| | 中国・四国地区図書館地区別研 修開催事業 | 図書館における中堅の司書としての力量を高めるため、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行った。 (765) |
| | ミュージアムネットワーク事業 | 鳥居博士に関する調査研究や展示の充実を図るため、九州国立博物館や国立民族学博物館などとの共同研究に取り組み、相互協力のためのネットワークを形成した。 (3,631) |
| | 鳥居龍蔵記念博物館開館1周年 記念企画展事業 | 鳥居龍蔵記念博物館の開館1周年を記念して、鳥居博士が日本人や日本文化の起源に関心を抱く原点となり、彼自身のアジア調査で重要な意味を持った台湾を主題に企画展や記念講演会等を開催した。 (8,329) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現 | 競技力向上スポーツ指定校ステップアップ事業 | 全国高等学校総合体育大会や国民体育大会等の全国大会で入賞できる競技力を育成するため、遠征・合宿等の強化活動費の一部を助成した。 また、毎年度評価委員会を開催し、成績に応じた指定校の入れ替えを行うなど成績主義を徹底した。 (14,855) |
| | 競技スポーツ重点強化対策事業 | 長期的な展望に基づいたジュニア層の強化を図るため、小学校におけるスポーツ人口の裾野拡大と優秀な選手の発掘・育成に係る取組みの実施、中高校における県外有力校との練習試合や強化合宿の充実により、本県競技スポーツの強化を図った。 (3,920) |
| | 地域スポーツ人材の活用実践支援事業 | 運動部活動の専門的な指導者を委嘱の上、中・高等学校に配置して競技力向上を図るとともに、運動部活動の充実と地域社会との連携を促進した。 (5,588) |
| | 文化財保存修理事業 | 文化財保護に資するため、市町村及び指定文化財所有者等が行う文化財保存事業に対して補助を行った。 【主な事業】 (1) 国選定「脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (2) 国指定「徳島藩主蜂須賀家墓所」公有地化支援事業 (3) 重要文化的景観「檜原の棚田」整備事業 (14,792) |
| | 埋蔵文化財発掘調査・出土品整理事業 | 四国横断自動車道関連事業等に伴い、埋蔵文化財の発掘調査等を実施した。 (1) 発掘調査費 (281,682) (2) 出土品整理費 (23,877) (305,559) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現 | 中国・四国ブロック民俗芸能大会開催事業 | 民俗芸能の保存・振興を図るため、「中国・四国ブロック民俗芸能大会」を本県で開催し、各地域の貴重な民俗芸能の価値を広く県民に周知した。 (1) 開催日 平成23年11月27日 (2) 開催場所 あわぎんホール (3, 280) |
| | 舞中島文化的景観保存対策調査事業 | 阿波の藍文化を支えた歴史を有する美馬市の「舞中島洪水対策集落」について、文化財保護法に基づく「重要文化的景観」選定に向けた調査事業の実施を支援した。 (333) |
| | 四国山地カモシカ 特別調査事業 | 国が進める特別天然記念物カモシカの種の指定から生息地指定への移行のためのデータを収集するため、高知県と合同で生息状況調査、生息環境調査、個体群動向に関する調査を行い、報告書を刊行した。 (3, 387) |
| | 国指定天然記念物「船窪のオンツツジ群落」緊急調査事業 | 国指定天然記念物「船窪のオンツツジ群落」の適切な保護管理を行うため、吉野川市が行う生態調査、環境調査等の実施を支援した。 (450) |
| | 「みんなで阿波藍！コミュニケーション授業」事業 | きめ細やかな子育て支援活動を促進するとともに地域の伝統文化の次世代への継承を図るため、児童・生徒及び保護者等を対象に藍染め体験授業を実施した。 (3, 600) |
| | OUR文化教育創生事業 | ふるさと徳島の歴史を再発見し、県民の郷土を愛する心を育むため、史跡・埋蔵文化財などを素材とした県民向け講座などの活用事業や、近代和風建築の保護に向けた調査を行った。 (4, 383) |
| | 守護町勝瑞遺跡支援事業 | 本県を代表する歴史文化遺産である「勝瑞城館跡」を県内外に発信し、地域振興につなげるため、藍住町が進める史跡公園整備事業を支援した。 (6, 850) |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予算現額と 収入済額 との比較 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 教 育 総 務 課 | 219,135,000 | 430,387,294 | 430,387,294 | 0 | 0 | 211,252,294 |
| コンプライアンス推進室 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施 設 整 備 課 | 606,902,500 | 605,883,157 | 605,883,157 | 0 | 0 | △1,019,343 |
| 教 育 戦 略 課 | 137,371,000 | 137,228,791 | 137,228,791 | 0 | 0 | △142,209 |
| 教 職 員 課 | 12,137,776,000 | 12,158,102,815 | 12,158,102,815 | 0 | 0 | 20,326,815 |
| 福 利 厚 生 課 | 145,700,000 | 157,409,265 | 157,409,265 | 0 | 0 | 11,709,265 |
| 学 校 政 策 課 | 2,007,321,000 | 2,006,687,443 | 2,005,507,463 | 182,400 | 997,580 | △1,813,537 |
| 特 別 支 援 教 育 課 | 63,138,000 | 51,433,617 | 51,433,617 | 0 | 0 | △11,704,383 |
| 人 権 教 育 課 | 22,734,000 | 292,983,268 | 28,003,985 | 1,715,975 | 263,263,308 | 5,269,985 |
| 体 育 学 校 安 全 課 | 168,463,000 | 159,223,398 | 159,223,398 | 0 | 0 | △9,239,602 |
| 生 涯 学 習 政 策 課 | 24,515,000 | 21,775,000 | 21,775,000 | 0 | 0 | △2,740,000 |
| 教 育 文 化 政 策 課 | 321,099,000 | 321,067,664 | 321,067,664 | 0 | 0 | △31,336 |
| 文 化 の 森 統 括 本 部 | 330,502,000 | 331,332,040 | 331,318,784 | 0 | 13,256 | 816,784 |
| 計 | 16,184,656,500 | 16,673,513,752 | 16,407,341,233 | 1,898,375 | 264,274,144 | 222,684,733 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|-----------------|----------------|----------------|-------------|-------------|---------------------------------|
| 教 育 総 務 課 | 1,224,801,000 | 1,214,802,168 | 0 | 9,998,832 | 9,998,832 |
| コンプライアンス推進室 | 965,000 | 796,785 | 0 | 168,215 | 168,215 |
| 施 設 整 備 課 | 2,949,089,931 | 1,937,148,652 | 721,216,000 | 290,725,279 | 1,011,941,279 |
| 教 育 戦 略 課 | 252,218,950 | 247,477,366 | 0 | 4,741,584 | 4,741,584 |
| 教 職 員 課 | 66,884,999,000 | 66,747,742,087 | 0 | 137,256,913 | 137,256,913 |
| 福 利 厚 生 課 | 7,484,252,000 | 7,335,329,884 | 0 | 148,922,116 | 148,922,116 |
| 学 校 政 策 課 | 437,769,000 | 422,431,289 | 0 | 15,337,711 | 15,337,711 |
| 特 別 支 援 教 育 課 | 127,881,000 | 107,976,903 | 0 | 19,904,097 | 19,904,097 |
| 人 権 教 育 課 | 85,127,000 | 84,388,774 | 0 | 738,226 | 738,226 |
| 体 育 学 校 安 全 課 | 225,674,000 | 209,964,680 | 0 | 15,709,320 | 15,709,320 |
| 生 涯 学 習 政 策 課 | 129,768,000 | 122,952,426 | 0 | 6,815,574 | 6,815,574 |
| 教 育 文 化 政 策 課 | 385,260,000 | 383,193,338 | 0 | 2,066,662 | 2,066,662 |
| 文 化 の 森 統 括 本 部 | 608,011,000 | 561,410,020 | 0 | 46,600,980 | 46,600,980 |
| 計 | 80,795,815,881 | 79,375,614,372 | 721,216,000 | 698,985,509 | 1,420,201,509 |

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予算現額と 収入済額 との比較 |
|-------|----------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-----------------------|
| 学校政策課 | 奨学金貸付金 特別会計 | 311,859,000 | 383,776,998 | 311,935,586 | 1,365,052 | 70,476,360 | 76,586 |
| 計 | | 311,859,000 | 383,776,998 | 311,935,586 | 1,365,052 | 70,476,360 | 76,586 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予算現額と 支出済額 との比較 |
|-------|-------------------|-------------|-------------|--------|---------|-----------------------|
| 施設整備課 | 県有林県行造林 事業特別会計 | 300,000 | 225,000 | 0 | 75,000 | 75,000 |
| 学校政策課 | 奨学金貸付金 特別会計 | 311,859,000 | 311,610,983 | 0 | 248,017 | 248,017 |
| 計 | | 312,159,000 | 311,835,983 | 0 | 323,017 | 323,017 |